

内外情報

★オーストラリア熱分析学会

オーストラリア熱分析学会 (ATAS) は 1975 年 4 月 10 日、正式に発足し、J. O. Hill 博士が初代会長として推されたことが国際学会誌を通じて正式に報道された。

Dr. J. O. Hill
Department of Chemistry
La Trobe University
Bundoora, Victoria 3083
Australia

★流体及び流体混合物についての TRC Workshop

Texas A&M University の Thermodynamic Research Center では流体の諸性質の数値を文献で探したり、または推定するためのワークショップを 1976 年 1 月 5 日～7 日にわたって行なった。

F. D. Rossini (データ蒐集活動の現況)、P. T. Eubank (P-V-T 曲面)、R. C. Wilhoit (反応系の諸性質)、J. Chao (多原子分子の理想気体状態における熱力学的諸性質)、K. R. Hall (臨界現象に対する最近のアプローチ)、B. J. Zwolinski (液体の物理化学的諸性質) など、多くの特別講演が行われた。

Professor B. J. Zwolinski
Thermodynamic Research Center
Texas A&M University
College Station, Texas 77843

★Thermal Analysis Test Methods に関するシンポジウム

このシンポジウムは NATAS (North American Thermal Analysis Society) と ASTM (American Society for Testing and Materials E-37) との合同シンポジウムの形で、米国プリンストン大学において 1976 年 6 月 21 日～24 日にわたり行われた。

詳細については下記に問い合わせられたい。

Dr. R. L. Blaine
DuPont Instruments, Concord Plaza,
Wilmington, DE 19898, U.S.A.

★Vistas in Chemical Thermodynamics

ワシントン NBS において C. W. Beckett 博士の退官を記念したシンポジウムが 1976 年 7 月 23 日に計画されている。L. Brewer 教授 (化学熱力学とエネルギー問

題)、Y. S. Touloukian 教授 (輸送現象: 不可逆過程の熱力学)、R. P. Hudson 博士 (ベケット博士と NBS)、J. Margrave 教授 (温度、圧力の極端条件下での熱力学的研究) など、数件の特別講演が予定されており、化学熱力学の展望についての議論が行われる。連絡は下記まで。

Dr. G. T. Armstrong
Chemistry Building B350
National Bureau of Standards
Washington, D.C. 20234

★ライフサイエンスへのカロリメトリーの応用に関する国際会議

ライフサイエンスへのカロリメトリーの応用についての初めての国際会議が、ベルリン自由大学の生物物理及び生物化学中央研究所において 1976 年 8 月 2 日～3 日に行われる。P. L. Privalov (モスコウ)、I. Wadsö (ルント)、A. E. Beezer (ロンドン) 博士などによる数件の特別講演も予定されている。会議の公式語は英語。連絡先は次の通り。

Zentralinstitut, Habelschwerdter
Allee 30, D-1000 Berlin 33

★Analytical Calorimetry 第 3 回シンポジウム (ACS)

アメリカ化学会分析部門の Analytical Calorimetry シンポジウムは 3 回目を迎えたわけであるが、今回はサンフランシスコでの ACS 年會中に 8 月 31 日、9 月 1 日の両日にわたって行われる予定。発表論文は前回同様 Plenum Press 社よりプロシーディングとして発行される。連絡は下記まで。

Professor R. S. Porter
c/o Polymer Science & Engineering
University of Massachusetts
Amherst, Massachusetts 01002

★第 2 回 ETMA 国際シンポジウム

Electro/Thermal/Mechanical Analysis に関する第 2 回シンポジウムが 1976 年 9 月 1 日～3 日にわたり、スウェーデンの Gothenburg で行われる。シンポジウムの主題目は次の通りである。

1. Theory: Dielectric/Mechanical/Thermal/Depolarization
2. Analysis of test results
3. Thermomechanical testing: creep, penetration, differential creep, an informative new method for analyzing creep data
4. Dynamic mechanical properties and testing
5. Thermal analysis correlations: DTA, DSC, calorimetry, for both thermal and radiation cured materials
6. Dielectric analysis
7. Depolarization analyses: use in analyzing material defect structure; mathematical transformation into low frequency dielectric information
8. Applications in industry and research

下記に連絡されたい。

Dr. Stan Yalof, Tetrahedron Associates, Inc.,
7605 Convoy Court, San Diego, Calif. 92111, U.S.A.

★ 第1回熱分析に関するヨーロッパシンポジウム

(1st European Symposium on Thermal Analysis)

1976年9月20～24日, Salford大学(英国Salford)にて。詳細は本誌2, 32(1975)参照のこと。

★ TERMAL '76

第7回チェコスロバキア熱分析学会は、スロバキア工科大学およびスロバキア化学会の後援のもとに1976年10月5日～8日にわたり High Tartras で開かれる。会議の主テーマは次の通り。

1. General problems and equipment for thermal analysis
2. Thermal analysis of silicates and of raw materials
3. Thermal analysis in Inorganic Chemistry and Technology
4. Thermal analysis in Organic Chemistry and Macromolecular Chemistry and Technology.

連絡は下記まで。

Dr. Matej Vanis
Faculty of Chemical Technology
Janska 1, 880 37 Bratislava
Czechoslovakia

★ 第12回熱測定討論会

1976年10月18日～20日, 名古屋大学工学部にて。
本誌「会告」参照。

★ 第5回国際熱分析会議 (ICTA)

1977年8月1日～6日, 国立京都国際会館にて。
本誌「会告」参照。

★ 第5回化学熱力学国際会議

(Fifth International Conference on Chemical Thermodynamics)

International Union of Pure and Applied Chemistry および Swedish National Committee for Chemistry 共催。
1977年8月15～18日に Ronneby (Sweden) にて開催の予定。

- 主題: (1) 物理的変化の熱力学(熱容量, 相転移など)
(2) 化学変化の熱力学
(3) 電解質および非電解質水溶液の熱力学
(4) 生物熱力学

Ronneby は Baltic Sea に面した Sweden 南部の風光明媚な小都市で国際学会に必要な諸設備は完備している。日本からは Copenhagen 経由のルートが便利であろう。今回は1977年5月に Braunschweig で “Thermodynamik flüssiger und gasförmiger Mischungen” に関する学会が開催されることを考慮して、液体混合物の熱力学は主題から外されている。本会議では①総合講演(4～6), ②ポスターセッション(4), ③討論セッションが予定されている。このうちポスターセッションは当会議では初めての試みで、大きい部屋に複数の報告者が表、グラフ、写真などを一定時間提示し、一般参加者は自由に移動して、報告者との十分な議論を保証しようというもので、欧米での経験では一般に好評である。(詳細は Science 184, 1361 (1974) を参照されたし) ポスターセッションでの報告希望者は1977年5月15日までに200字以内のアブストラクトを提出のこと。
連絡先:

Fifth International Conference on Chemical Thermodynamics, Chemical Center,
Lund University, P.O.B. 740,
S-22007 Lund, Sweden

★第1回チェコスロバキアカロリメトリー会議 (First Czechoslovak Conference on Calorimetry)

チェコスロバキア科学アカデミー及び化学会主催の第1回カロリメトリー会議が1977年8月30日～9月2日にわたり、プラハ近郊のLibliceにおいて開催される。次の4つがこの会議の主題目となる。

1. 結晶の熱容量、エンタルピー、転移熱の測定、とくに相転移現象の動力学的研究
2. 化学吸着、固体表面反応のカロリメトリー、吸着分子の挙動と化学吸着機構の研究

3. 混合熱、希釈熱、蒸発熱など液体系のカロリメトリー

4. 測定法、装置、オートメーション、極端条件下のカロリメトリー

興味ある方は下記に連絡されたい。

Dr. M. Smišek
Institute of Inorganic Chemistry
Czechoslovak Academy of Sciences
Hlavova 2030
128 40 Prague 2
Czechoslovakia

入 会 案 内

日本熱測定学会では、(i) 会誌「熱測定」の発行（年4回、会員無料配布）、(ii) 熱測定討論会の開催（年4回、参加費の会員割引）、(iii) 「熱・温度測定と熱分析」の発行（年1回、会員特価販売）、(iv) 熱測定セミナー、講習会の開催（会員割引）、(v) 米国、北米、ソ、英、仏、西独、北欧等の学会および国際学会組織（IUPAC、ICTA、CODATA等）との交流を事業として行ってお

りますほか、熱分析用語法作業グループ、電算機利用研究グループ、BTT情報収集作業グループ、熱分析共同測定作業グループなどの各研究グループを設けて、会員の便宜をはかっております。

入会を希望される方は、事務局に入会申込書がありますので御利用下さい。

会 費（会計年度は10月1日より翌年9月30日）
正 会 員（個人） 年 額 2,000 円
維持会員（法人） " 10,000 円（1口）以上

日本熱測定学会事務局 〒113 東京都文京区湯島1-5-31 第一金森ビル内
電話 03-815-3988 振替東京110303

『熱測定』編集委員会

（委員長）菅 宏、（委員）上出健二、高橋克忠、
東原秀和、村上幸夫

熱測定 Vol. 3, No. 3, 1976 昭和51年7月25日印刷
定価 1,000円 昭和51年7月30日発行

編集兼 日本熱測定学会 松本直史
発行人

〒113 東京都文京区湯島1-5-31 第一金森ビル内
電話 03-815-3988 振替東京110303